

平成29年度 事業報告書

NPO法人障がい者支援ねっとまつばら

I 事業期間

平成29年4月1日～平成30年3月31日

II 事業の成果

主な活動報告及び全体総括

4月、昨年度に引き続き、まつばらテラス（輝）をはじめ、4つの公共施設の管理や清掃業務を市より受託しました。いずれも清掃業務は、障がい者就労施設（以下、施設と言う。）で業務の訓練を受けた障がい者が指導を受けながら従事しました。

公共施設名	従事した障がい者施設
まつばらテラス	えるで、ワークセンターリサイクル、アフター、おんど、まつのみ
総合福祉会館	支援センターあまみ
保健センター	まつのみ
人権交流センター	えるで、ワークセンターリサイクル、アフター、愛あ〜る

また、市から「きれいなまちづくり条例」の啓発用のマッキーしおり製作1,500枚を受注しました。印刷、カッティングは業者に発注、ひも通しや袋詰め作業を5つの施設（アフター、えるで、ひまわり、まつのみ、ワークセンターリサイクル）が行いました。

7月、公用車の洗車業務がスタートしました。3つの施設が分担し、定められた6ヶ月間の業務を行いました。（担当施設：アフター、支援センターあまみ、風媒花）

9月には、ゆめニティまつばらで開催された『みんなのWA2017』（バオバブ福祉会主催）を共催しました。えるで自慢のさをり織りやレザー製品などとともに、他の施設の手作り製品の展示・販売をしました。

10月の秋の交通安全運動の際に配布される啓発品1,500個を、松原市交通安全協会、松原自家用自動車協会から受注し、6つの施設で協力して製作しました。また、高齢者向け交通安全教室優良者への賞品も受注しました。

また、松原市自立支援協議会から、障がい者差別解消法の啓発用マッキーの缶バッジ製作350個を受注しました。

11月、第8回まつばらマルシェでは、まちの魅力ブースで自主製品の販売や市のキャラクター、マッキーの缶バッチ作り体験を行いました。自主製品のPRとともに、ねっとまつばらのPRにもつなげることができました。

同月に開催されたボッチャ大会では、昨年につき、参加者への記念品として自主製品を受注しました。

また市の協力をいただき、まつばらテラス（輝）に自主製品の展示・販売ショーケースを設置させていただきました。

1月、まつばらテラス（輝）でのオープン1周年イベント時に、自主製品販売を行い、多くの方にお越しいただきました。

2月14日、15日の2日間、イズミヤ（松原店）では一とぴあショップを出店しました。イズミヤさんのご厚意により、長年、催し会場を無償でご提供いただいているもので、今年もたくさんの方にご来場いただきました。

3月、社会福祉協議会の高齢者きらり活動事業の活動ポイント交換品として、30点の自主製品を受注しました。昨年度は16点でしたので、ほぼ倍増しました。

3月末に、ねっとまつばらのホームページを開設しました。自主製品の紹介ページに力を入れ、カタログとして使えるようにしていきたいと考えています。ねっとまつばらのPRに広く活用していきます。

全体として、ねっとまつばらが連絡、調整機能を果たし、各施設が連携協力、分担することで、業務の受託量を増やすことにつながっています。

Ⅲ 事業の実施状況

1. 特定非営利活動に係る事業

(1) 市就労支援事業

施設で就労する障がい者や在宅で就業する障がい者の自立と社会参加を進めるため、「障害者優先調達法」に基づき、松原市は物品やサービスを調達する際に施設等から優先的・積極的に購入することとしています。

具体的には、施設などが提供できるサービス・役務について、松原市とねっとまつばらが契約を交わし、ねっとまつばらは、市内の全ての施設にその情報を提供します。各施設は自らの稼働能力を考慮して、受注可能であれば受注を申し出、ねっとまつばらは、各施設にできるだけ公平・平等に業務を配分できるよう調整しています。実績は次のとおりです。

① サービス・役務提供

内 容	金額(年/税込)
福祉会館日常清掃	3,456,000 円
福祉会館ワックス清掃	92,400 円
福祉会館管理補助	158,643 円
保健センター管理・日常清掃	2,707,200 円
公用車洗車	737,856 円
人権交流センター日常清掃	1,179,270 円
人権交流センターワックス清掃	54,000 円
まつばらテラス日常清掃	1,317,600 円
まつばらテラス管理補助	29,290 円

② 自主製品製作販売等

内 容	金額(年/税込)
啓発用品（非核平和展、きれいなまちづくり条例、差別解消法）	153,900 円
イベント参加賞品（ポッチャ大会）	120,000 円
きらり活動交付品	47,000 円

【業務施設】 愛あ〜るはっぴいワーク、支援センターあまみ、アフター、えるで、おんど、政和福祉会、ひまわり作業所、風媒花、まつのみ福祉会

(2) 共同受注構築・活用事業

共同受注のしくみの構築に関する事業及び、松原市(役所)以外の団体や企業、個人からの受注、販売したもので、実績は次のとおりです。

内 容	受 注 ・ 販 売 先	金額(税込)
交通安全運動啓発品	松原交通安全協会、自家用自動車協会	225,000 円
交通安全教室優秀者賞品	車協会	18,000 円
イベント参加記念品	浦野衆議院議員後援会	104,000 円
周年事業記念品	民生児童委員協議会	320,000 円
はーとぴあショップ販売	主に個人(市庁舎,福祉会館,テラス,イズミヤ,マルシェ,フェスタ等)	998,650 円

【製作施設】 愛あ〜るはっぴいワーク、アフター、えるで、政和福祉会、ひまわり作業所、風媒花、まつのみ福祉会

(3) 啓発・交流事業

4月22日にまつばらテラス（輝）で『ねっとまつばらフェスタ（旧就労支援フェスタ）2017』を開催しました。

今回は、従来からの就労支援に加え、障がい者が地域の方々やさまざまな団体と交流を持ち、障がい者自身が楽しめるようなイベントを目指しました。

情報発信、各種体験や自主製品の販売、相談などのコーナーを設置しながら、クイズやお楽しみ抽選会など、来場者に楽しんでいただける時間を増やしました。

また、ゲストのダンスパフォーマンスで会場が盛り上がり、来場者、障がい者が一緒になって踊るなど、会場はいっぱいの笑顔があふれました。来場者は約300名でした。

9月9日にゆめニティまつばらで『バオバブとみんなのWA2017』（バオバブ福祉会と共催）を行いました。「発達障がい当事者・親の立場として」と題し、元村祐子氏にご講演をいただきました。体験などを踏まえたお話は大変勉強になりました。その他、大学や高校の手話クラブによる手話歌やえるでメンバーによるダンス、作業体験や手作り製品の販売などにたくさんの方が訪れました。

第8回まつばらマルシェは11月11日、12日に中央公園で開催されました。小さな子ども連れの家族から、高齢者まで多くの方がブースを訪れました。特にマッキーの缶バッチ作りには行列ができ、子どもたちは自分で作った缶バッチを手に喜んでいました。手作り製品の展示・販売では、焼菓子が人気で、短時間で完売するほどでした。2日間の売上は85,570円（昨年比65%増）でした。

12月9日、10日に、ゆめニティまつばらで「ボランティアフェスタ」（社会福祉協議会主催）が開催され、ねっとまつばらとして初めて参加、活動のPRや自主製品の販売を行いました。多くの市民団体、ボランティア団体が参加する大きな催しで、たくさんの方と交流しました。

3月17日には人権交流センターで『バオバブとみんなのWA2018』（バオバブ福祉会と共催）を開催しました。各種団体やボランティアの協力により講演、ギター演奏や和太鼓、マジックショー、餅つきなど、盛り沢山のイベントで大変賑わいました。

IV 社員総会の開催状況

〈名 称〉平成29年度通常総会

〈実施日時〉平成29年6月26日(月)18時00分～19時10分

〈場 所〉松原市総合福祉会館 3階会議室

〈社員総数〉 77名

〈出席総数〉 59名（うち委任状 31名）

〈議案〉 第1号議案 平成28年度事業報告の件

第2号議案 平成28年度決算報告の件

〈審議結果〉 第1号議案 全員一致で承認可決

第2号議案 全員一致で承認可決

V 理事会の開催状況

第1回理事会 平成29年6月16日(金) 18時00分～19時15分

〈内容〉 第1号議案 平成28年度事業報告の件

第2号議案 平成28年度決算報告の件

第3号議案 平成29年度事業計画、予算案の件

その他

第2回理事会 平成29年11月28日(火) 18時00分～19時40分

〈内容〉 第1号議案 平成29年度活動状況について

その他